

特徴：子牛預託施設（キャトルセンター）の活用による生産性向上

畜種等	肉用牛
県・市町村名	薩摩川内市 入来町
取組実施者名	さつま川内農業協同組合
経営形態	キャトルセンター(子牛預かり)
飼養頭羽数	常時204頭
取組開始年	平成13年度



## 経営の概要

さつま川内農協の子牛生産実績(H19)は、2,625頭と管内子牛市場の約4割を占める。管内の肉用牛繁殖経営は、水田との複合経営が多く、高齢化等による経営中止も進む中、50頭規模を超える専業経営体も出現してきている。

こうした中、経営規模拡大の一助となるため、また子牛育成に係る労力軽減を図る目的で、離乳後から子牛市場出荷までの子牛を受託育成する施設(キャトルセンター)を事業を活用し整備した。

事業名 平成12年度 畜産基盤再編総合整備事業(第2川薩地区)

## 生産性向上の取組の概要

預託を希望している各生産者から、離乳後の約3ヶ月令で子牛を導入(30頭/月)し、6～7ヶ月間の飼養後、市場へ出荷している。

衛生については、導入時・7日目・15日目・2ヶ月目・出荷1ヶ月前の衛生プログラムにより実施。

預託料については600円/日で、飼養費不足分については、生産者と薩摩川内市、さつま川内農協の3者による積み立て基金より補っている。



## 取組の実績・効果

預託希望が多く、飼養状況の過密問題を解消するため、平成19年度に隣接肥育施設を自己資金で改築し、54頭分を増設。現在の204頭収容可能となる。

また、離島である甑地区の子牛も預託しており、受入頭数のうち4～5割を占める。

### 【取組実績】

単位： 頭, 円

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
受入頭数	272	250	274	265	298	346	324
出荷頭数	222	271	276	248	266	324	351
キattel平均価格	361,712	360,929	406,293	460,387	506,043	515,410	516,697
さつま川内農協	346,038	354,289	419,484	467,119	506,269	522,621	516,988
市場平均	354,453	355,941	423,881	470,675	513,361	524,687	514,741

### 【取組の効果】

受入時に発育がやや遅れ気味な子牛が見受けられるものの、出荷平均価格は地域平均価格と同等である。

## 取組実施者(さつま川内農協)からのコメント

事業開始当初は受入頭数や飼養管理等、運営面でうまくいか不安がありましたが、生産者や行政の理解と協力のもと、現在では、年間300頭以上の子牛を受け入れています。

川薩地区においては、増頭計画のある生産者も多く、また、甑地区においても増頭計画があるので、今後も地域の肉用牛生産基盤維持・拡大を図る施設として、地域の畜産農家に活用していただきたいと考えています。

事例提供： 鹿児島県 北薩地域振興局 農政普及課 畜産振興係

お問合せ： TEL 0996-52-4503